

社会資本総合整備計画
三郷中央駅周辺地区

令和5年3月31日

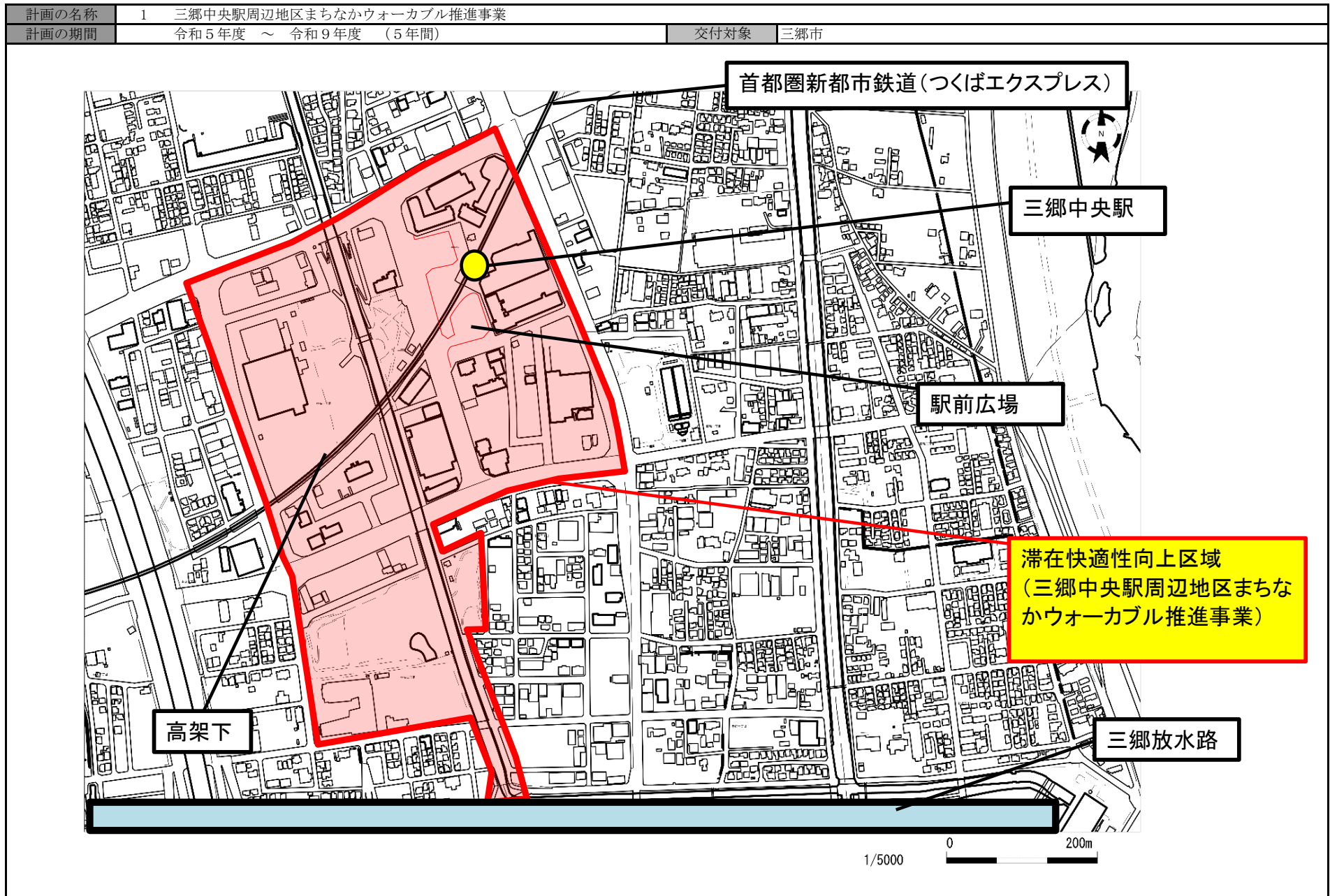
埼玉県三郷市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和4年12月 日

計画の名称	三郷中央駅周辺地区まちなかウォークアブル推進事業																															
計画の期間	令和5年度～令和9年度（5年間）					交付対象	三郷市																									
計画の目標	<p>三郷中央駅周辺地区は令和3年度策定の三郷市都市計画マスタープランにおいて都市交流拠点に位置づけられているが、滞留性、回遊性、にぎわい創出など様々な課題が点在している。中心となる駅前交通広場では歩行者の滞留空間としての機能が不十分であるほか、送迎スペース不足によるロータリー内の混雑、ロータリー出入口に配置されている横断歩道など、交通安全上の課題が生じている。また、路線バス用のロータリーは未使用部分が多く、土地の有効活用が求められており、レイアウト変更を含めた安全性の確保が必要である。また、当該地区は都市交流拠点としてのにぎわい、滞在性、回遊性に欠けており、既存ストックを活用した観光資源の発掘を検討する必要がある。</p> <p>大目標：駅前交通広場の改修を行い、歩行者等の滞留空間を創出するとともに、自転車・歩行者道の高質化と既存歩道を活用し、回遊性及び滞在快適性の向上を図り、街なか交流人口の増進や利便性の向上を図る。 目標1：駅前交通広場の改修を行い、歩行者等の滞留空間を創出 目標2：周辺地区における自転車・歩行者道の高質化による既存ストックを活用した回遊性向上</p>																															
計画の成果目標（定量的指標）	<p>駅前交通広場の利便性向上及びにぎわい創出並びに駅周辺の回遊性向上を評価するため、以下の2点を指標とする。</p> <p>①歩行者交通量（駅前交通広場） ②三郷中央駅周辺のにぎわいの創出</p>																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>R3年度</th> <th></th> <th>R9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①歩行者交通量（駅前交通広場）（人/3時間） 安全で快適な歩行空間の創出を目的とし、駅前広場内の定点8か所で歩行者交通量を測定。歩行者数の増加を目標とし、その交通量を指標とする。</td> <td>7,771人</td> <td>—</td> <td>8,500人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②三郷中央駅周辺のにぎわいの創出（人/日） 歩行空間の高質化、滞留空間の創出によるにぎわい創出の指標として、駅利用者の増加を目標とし、三郷中央駅の利用者数を指標とする。</td> <td>22,260人</td> <td>—</td> <td>24,000人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	R3年度		R9年度	①歩行者交通量（駅前交通広場）（人/3時間） 安全で快適な歩行空間の創出を目的とし、駅前広場内の定点8か所で歩行者交通量を測定。歩行者数の増加を目標とし、その交通量を指標とする。	7,771人	—	8,500人		②三郷中央駅周辺のにぎわいの創出（人/日） 歩行空間の高質化、滞留空間の創出によるにぎわい創出の指標として、駅利用者の増加を目標とし、三郷中央駅の利用者数を指標とする。	22,260人	—	24,000人	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																													
	R3年度		R9年度																													
①歩行者交通量（駅前交通広場）（人/3時間） 安全で快適な歩行空間の創出を目的とし、駅前広場内の定点8か所で歩行者交通量を測定。歩行者数の増加を目標とし、その交通量を指標とする。	7,771人	—	8,500人																													
②三郷中央駅周辺のにぎわいの創出（人/日） 歩行空間の高質化、滞留空間の創出によるにぎわい創出の指標として、駅利用者の増加を目標とし、三郷中央駅の利用者数を指標とする。	22,260人	—	24,000人																													
全体事業費	合計 (A+B+C)	946 百万円	A	946 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																						
交付対象事業																																
A1 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									R5	R6	R7	R8	R9																			
	都市再生	一般	三郷市	直接	三郷市	三郷中央駅周辺地区まちなかウォークアブル推進事業	駅前交通広場の改修、地区内歩道の高質化、高架下利活用	三郷市						946.0																		
合計											946.0																					
B 関連社会資本整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H22	H23	H24	H25	H26																			
合計											0.0																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																					
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H22	H23	H24	H25	H26																			
合計											0.0																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																					

(参考図面) 市街地整備



まちなかウォークアブル^{すいしんじぎょう}推進事業

みさとちゅうおう ^{えき しゅうへん ちく}
三郷中央駅周辺地区

さいたま ^{みさと し}
埼玉県 三郷市

令和5年3月

事業名	確認
都市・「再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	みさと市 三郷市	地区名	みさとちゅうおう えきしゅうへんく 三郷中央駅周辺地区	面積	28 ha
計画期間	令和 5 年度 ~ 令和 9 年度	交付期間	令和 5 年度 ~ 令和 9 年度				

<p>目標</p> <p>大目標：駅前交通広場の改修を行い、歩行者等の滞留空間を創出するとともに、自転車・歩行者道の高質化と既存歩道を活用し、回遊性及び滞在快適性の向上を図り、街なか交流人口の増進や利便性の向上を図る。</p> <p>目標1：駅前交通広場の改修を行い、歩行者等の滞留空間を創出</p> <p>目標2：周辺地区における自転車・歩行者道の高質化による既存ストックを活用した回遊性向上</p>
--

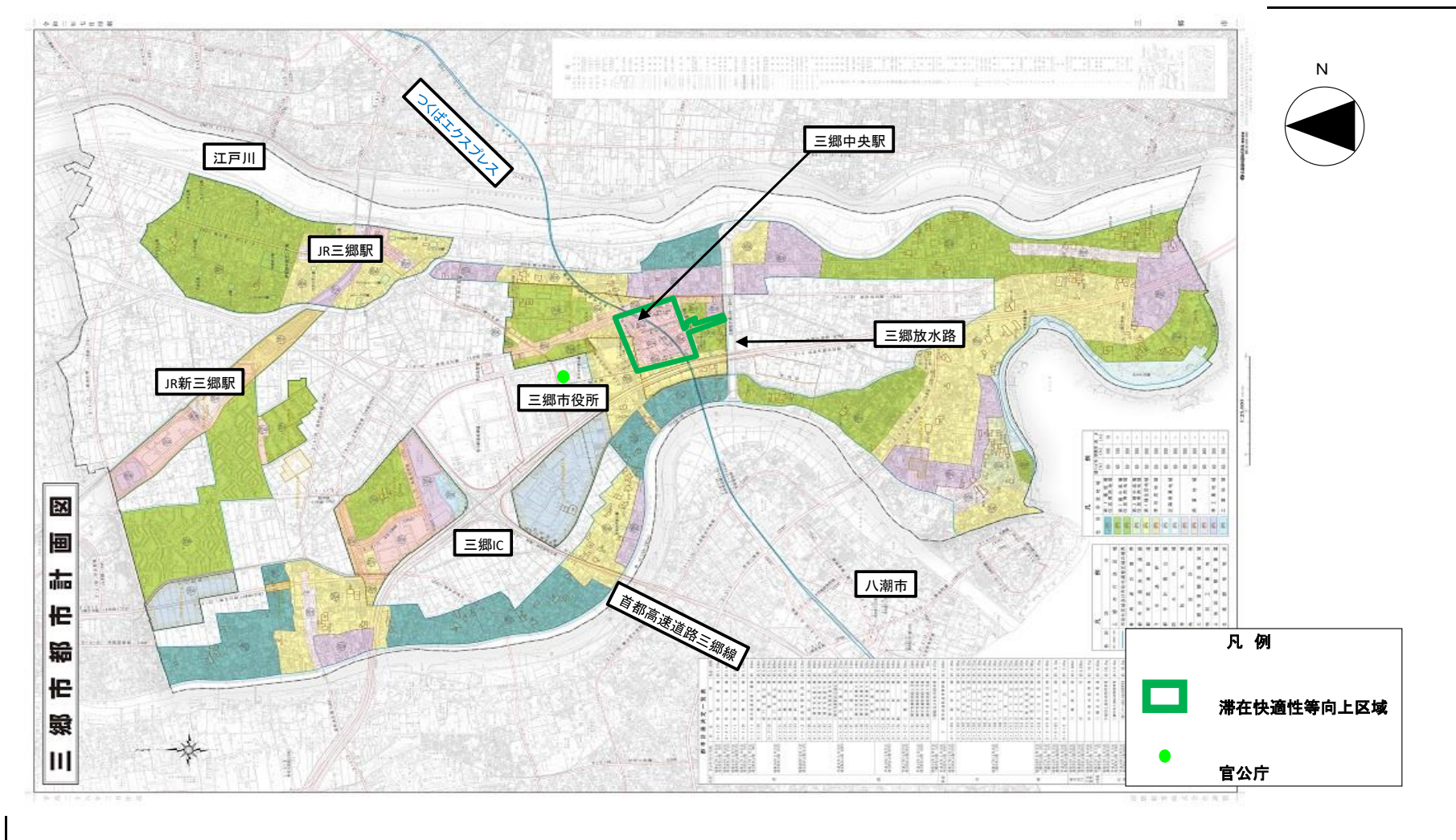
<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷市は、東京都心から20km圏内に位置しており、大型団地や高速道路を結ぶインターチェンジなどの施設が整備され、急速な都市化が進み田園型の社会から多様な機能を持つ都市へと変化しつつある。 当地区は、市の中心的位置にあり、江戸川と中川に挟まれ、地区内を第二大場川が縦貫している。また、昭和20年代の耕地整理事業及び昭和50年代の土地改良事業以降は、道路整備をはじめとして、公共施設整備がほとんど行われていないため、農地や住宅用地が主な土地利用となっている。 当地区内においては、「大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法」(宅鉄法)が平成元年に法制化され、三郷中央地区(約114.8ha)が同法の重点地域としての指定を受けたことから、同法に基づく一体型土地区画整理事業の実施により宅地開発及び鉄道整備を一体的に推進し、新駅を中心とした都市基盤整備を行っている。なお、土地区画整理事業は、都市基盤整備と合わせ良質な住宅・宅地の供給を行うとともに、つくばエクスプレスの整備による都心への交通事情の改善と都市機能集積の促進を図ることを目的として実施され、平成27年1月30日の換地処分を以て事業を終了した。 つくばエクスプレスは、都内の秋葉原を起点として、埼玉県内の八潮市、三郷市を経て、千葉県、茨城県つくば市に至る延長約58kmの都市高速鉄道である。この路線は、昭和60年7月の運輸政策審議会答申「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」のなかで位置づけられ、JR常磐線の混雑緩和や交通不便地域の利便性の向上及び首都圏における住宅地供給の促進などを目的として整備され、H17年8月に開業した。 第1期まちづくり交付金事業(H16~H20年度)では、駅へのアクセス道路の整備による利便性の向上、緑地や公園等の整備による水と緑を体感できるまちづくりを行った。 平成21年度から25年度の同地区における都市再生整備計画事業では道路整備事業、電線類の地中化による高質空間形成、提案事業として図書館を設立することにより、中心市街地形成の促進及び親水環境を活かしたアメニティに配慮した高質空間の創造を行った。 当地区では市民参加のまちづくりを行う方法として平成14年に「三郷中央地区まちづくり懇話会」を組織し、市民との対話の中からまちづくりを進めている。 第5次三郷市総合計画(令和3年3月)のまちづくりの理念として、市内外の人々との交流が広がるまちづくり「交流都市みさと」を目指すとともに、同計画の将来都市構造において、当該地区は都市交流拠点に位置付けられており、賑わいと活気ある快適な都市空間の形成により、市のシンボルとなるまちづくりを目指している。

<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前交通広場は歩行者の滞留空間としての機能が不十分のため、滞在快適性、利便性を向上させる必要がある。 駅前交通広場では送迎用スペース不足によるロータリー内の混雑、ロータリー出入口に配置されている横断歩道など、交通安全上の課題が生じている。また、路線バス用のロータリーは未使用部分が多く、土地の有効活用が求められており、レイアウト変更を含めた安全性の確保が必要である。 当該地区は都市交流拠点としてのにぎわい、滞在性、回遊性に欠けており、既存ストックを活用した観光資源の発掘を検討する必要がある。
--

<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>①第5次三郷市総合計画(2021-2030)(令和2年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「交流都市 みさと」をまちづくり理念の3本柱の一つとし、市特性をアピールしていくことで、市民が三郷市を誇りに思い、市内外の人々と交流が広がるまちづくりを目指す。 三郷中央駅周辺地区は都市交流拠点として、にぎわいと活気ある快適な都市空間の形成によるシンボルとなるまちづくりを目指す。 <p>②三郷市都市マスタープラン(2021-2040)</p> <p>【全体構想の道路交通体系整備方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある美しい道づくりを目指す。駅前広場を中心に、道路や徒歩圏内の公園、河川等の公用空間において、多くの人が滞在したくなるような親しみを感じ、居心地がよく、歩きたくなる道づくりを検討することで、快適性の向上とにぎわいの創出を図る。 <p>【地域別構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央地域のまちづくり方針として、駅を中心とした都市交流拠点の形成、生活利便性を高める市街地の形成による街の魅力を発見できる歩行空間づくりを進める。
--

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1:駅前交通広場の改修を行い、歩行者等の滞留空間を創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロータリーを縮小し、歩道を拡幅することで回遊性の向上と滞留空間の創出を図る。 ・タクシープール、一般車の送迎スペースのレイアウトを見直し、歩行者の安全性を向上させる。 	<p>【基幹事業】(道路)駅前交通広場改修 【基幹事業】(滞在環境整備事業)シェルター設置 【基幹事業】(高質空間形成施設)ベンチ設置</p>
<p>目標2:周辺地区における自転車・歩行者道の高質化による既存ストックを活用した回遊性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中央地区周辺から三郷放水路沿道(桜のpromナード)までの歩道・自転車道を整備することで地区内の回遊性を創出する。 ・サイクルステーションを整備しシェアサイクル事業を展開する。また、三郷サイクリングロード(江戸川堤防)からのサイクリストを市街地に誘客することで、サイクリング事業と観光事業の発展に寄与する。 	<p>【提案事業】(地域創造支援事業)サイクルステーション整備 【基幹事業】(高質空間形成施設)歩行者道整備 【基幹事業】(地域生活基盤施設)案内板整備</p>
<p>その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ●進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 埼玉県ふるさと創造資金事業として、三郷中央駅周辺にぎわい創出検討プロジェクトを実施中。駅前交通広場、におどり公園、高架下の利活用などについて、利用者視点から利便性向上に向けた意見を提案してもらい、市民主体のまちづくりを実施していく ●関連事業 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前交通広場内に、観光案内所(トイレ等の休憩施設を併設)を整備する方針 	

三郷中央駅周辺地区(埼玉県三郷市)	面積	28 ha	区域	三郷市中央1~3丁目の一部
-------------------	----	-------	----	---------------



三郷中央駅周辺地区(埼玉県三郷市) 整備方針概要図(まちなかウォーカーカブル推進事業)

目標	大目標: 駅前交通広場の改修を行い、歩行者等の滞留空間を創出するとともに、自転車・歩行者道の高質化と既存歩道を活用し、回遊性及び滞在快適性の向上を図り、街なか交流人口の増進や利便性の向上を図る。 目標1: 駅前交通広場の改修を行い、歩行者等の滞留空間を創出 目標2: 周辺地区における自転車・歩行者道の高質化による既存ストックを活用した回遊性向上	代表的な指標	歩行者交通量(駅前交通) (人/3時間)	7,771人/3時間(平日) (R3年度)	→	8,500人/3時間(平日) (R9年度)
			三郷中央駅周辺のにぎわい(人/日)	22,260人/日 (R3年度)	→	24,000人/日 (R9年度)
			0	0	→	0
			0	0	→	0
			0	0	→	0



三郷中央駅周辺地区まちなかウォーカーカブル事業事前評価シート

計画の名称：三郷中央駅周辺地区まちなかウォーカーカブル

事業主体名：三郷市

チェック欄	
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○